

文部科学省「世界で活躍できる研究者戦略育成事業」

世界視力を備えた次世代トップ研究者育成プログラム

第6期L-INSIGHTフェロー

募集説明会 (25/12/18)

※12時10分から (最大12時45分まで)

京都大学 総合研究推進本部

若手研究者戦略育成拠点

京都大学



# 本日まで説明する内容

1. L-INSIGHTの若手研究者育成の基本的な考え方  
京都大学若手研究者戦略育成拠点長/京都大学副学長 石川冬木
2. L-INSIGHTフェローに提供しているプログラム
3. 応募申請書の記載事項の要点
4. 質疑 (-12:45)

# 1. L-INSIGHTの若手研究者育成の基本的な考え方

京都大学若手研究者戦略育成拠点長/京都大学副学長 石川冬木

# 世界視力を備えた次世代トップ研究者育成プログラム L-INSIGHTについて①

## 文部科学省

「組織レベルでの効果的な研究者育成の取組みにより、日本の研究生産性向上のための世界トップレベルの研究者を育成するプログラムを、実証を通じて開発し、研究者の育成を推進する」10年間の事業

L-INSIGHT  
京都大学

Hiraku-Global  
広島大学

TI-FRIS  
東北大学

TRiSTAR  
筑波大学

T-Gex  
名古屋大学

各地域の中核大学として、コンソーシアム連携大学へプログラムを提供

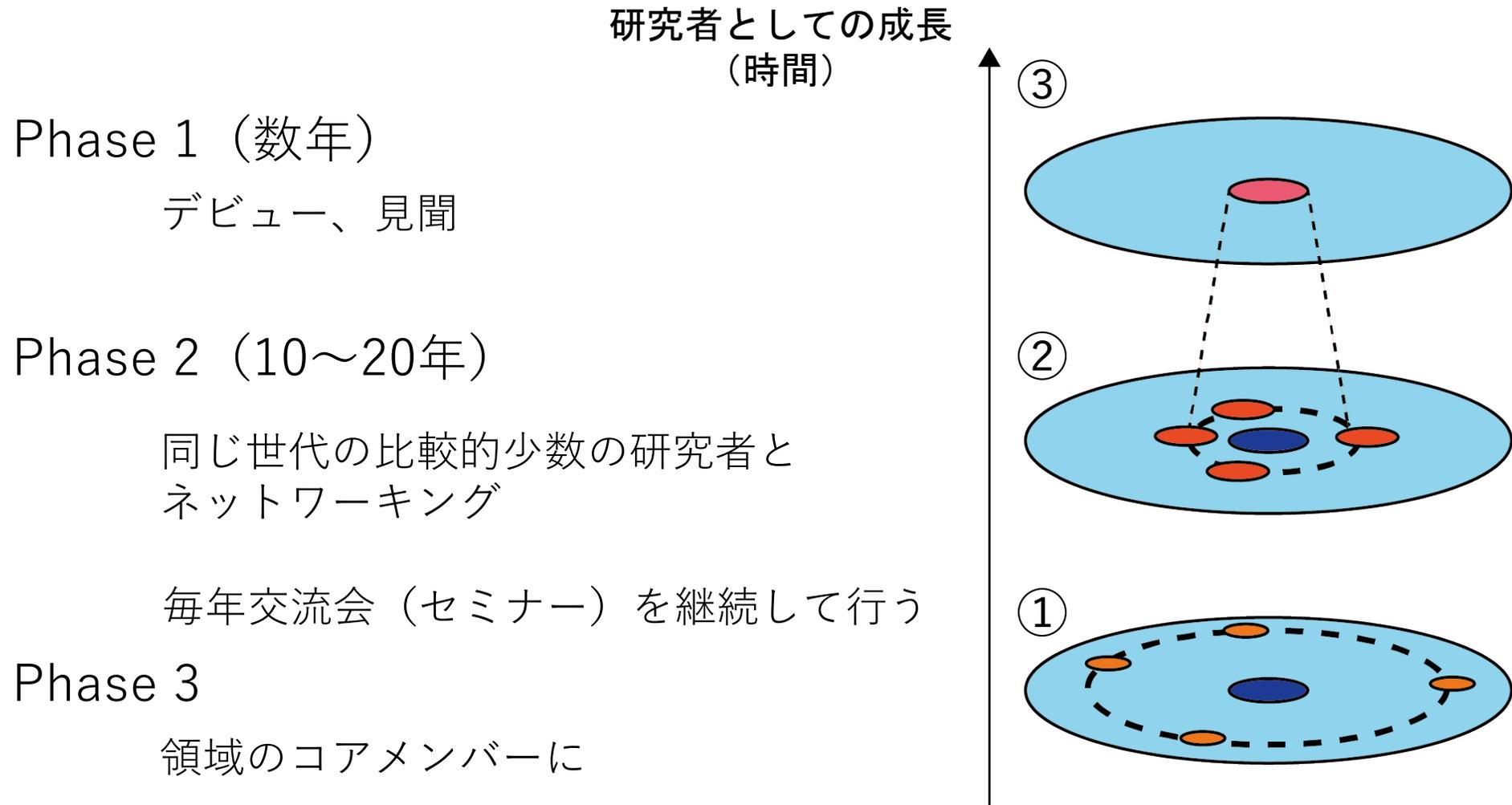
機関間の合意による制限なく、  
日本中の志の高い若手研究者にプログラム提供が可能

# 世界視力を備えた次世代トップ研究者育成プログラム L-INSIGHTについて②

世界を見据え、研究を通じて持続可能な地球社会に貢献しようとする次世代トップ研究者を育成します。

国際経験が豊富な研究者や専門家、国内外の連携機関と協働し、マインドセット・スキルセットを涵養する人材育成プログラムを開発・実証し、次世代を担うより多くの研究者へ普及することを目的としています

# 研究者が国際ネットワークを作るには ①



# 研究者が国際ネットワークを作るには ②

研究者としての成長  
(時間)

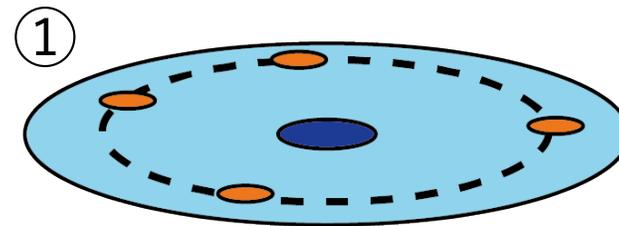
Phase 1 (数年)

デビュー、見聞

自分の得意とする研究スタイルをアピール  
(名刺代わり)

同じ年代の優秀な研究者を捜す、知り合いになる

科学哲学など一般的な常識をつける



# 研究者が国際ネットワークを作るには ③

研究者としての成長  
(時間)

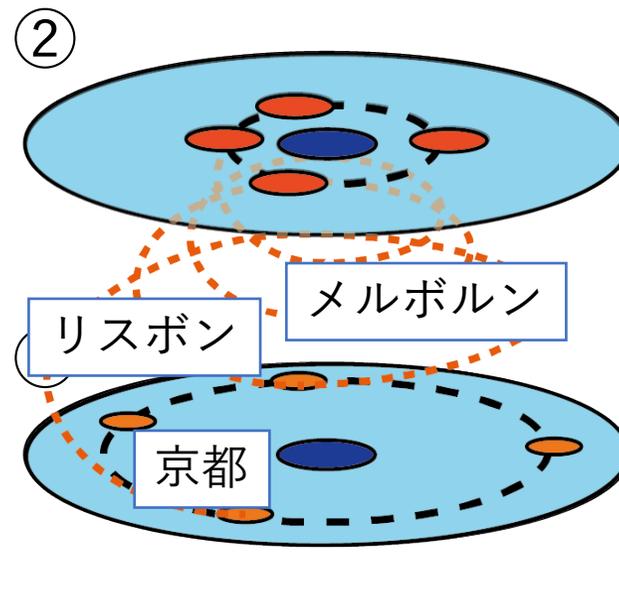
Phase 1 (数年)

デビュー、見聞

Phase 2 (10~20年)

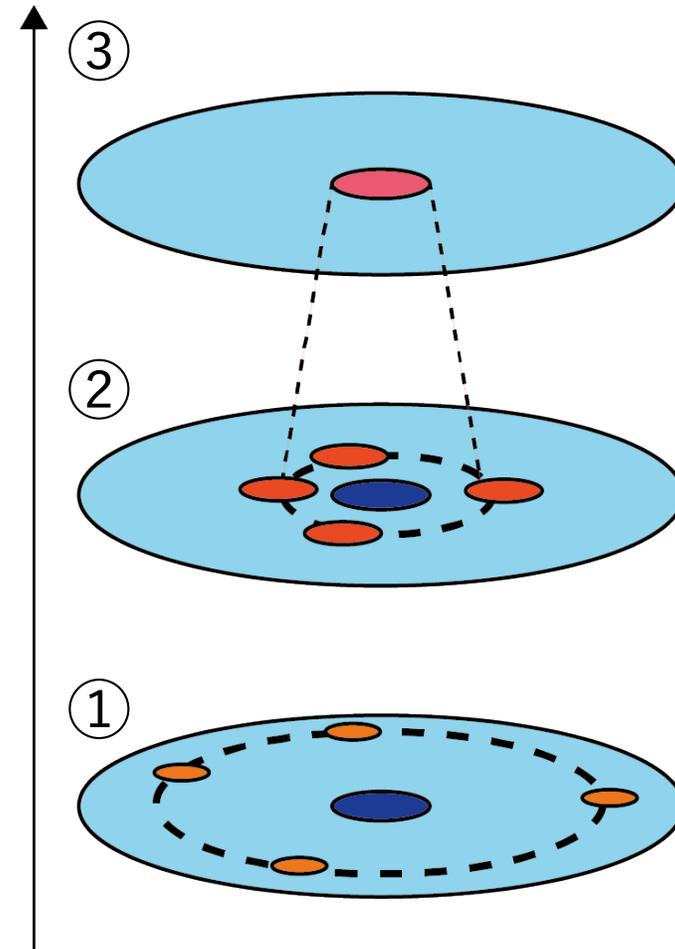
同じ世代の比較的少数の研究者と  
ネットワーク

毎年交流会 (セミナー) を継続して行う



# 研究者が国際ネットワークを作るには ④

- 研究者としての成長  
(時間)
- Phase 1 (数年)  
デビュー、見聞
- Phase 2 (10~20年)  
同じ世代の比較的少数の研究者と  
ネットワーキング  
毎年交流会 (セミナー) を継続して行う
- Phase 3  
領域のコアメンバーに



# 研究領域での緊密なサークル形成

研究者としての成長  
(時間)

Phase 2

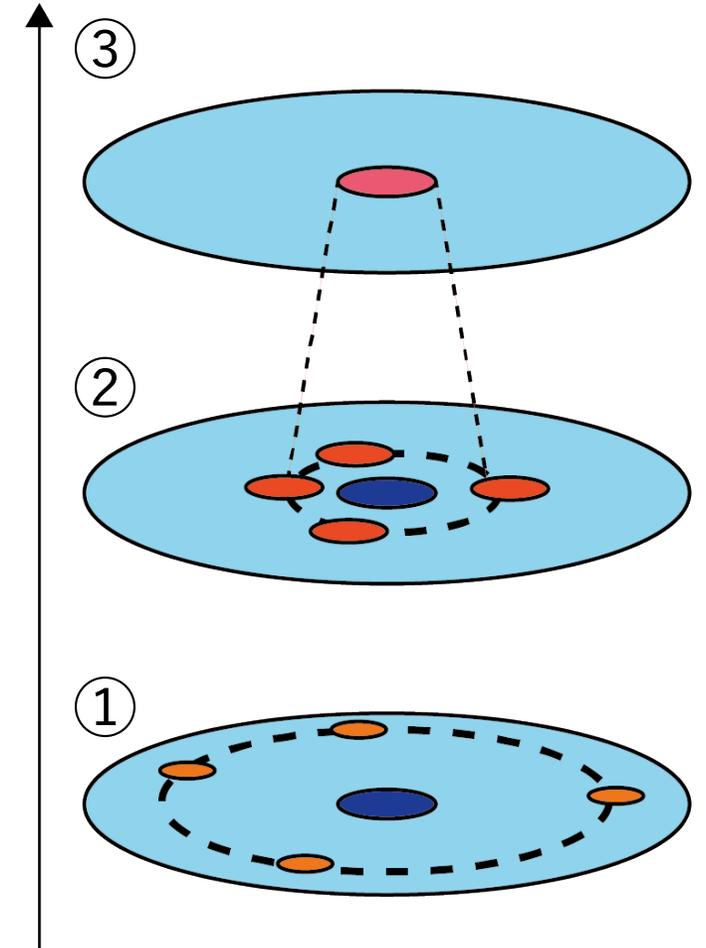
同世代の研究者と定期的なワークショップを開催する



KYOTO

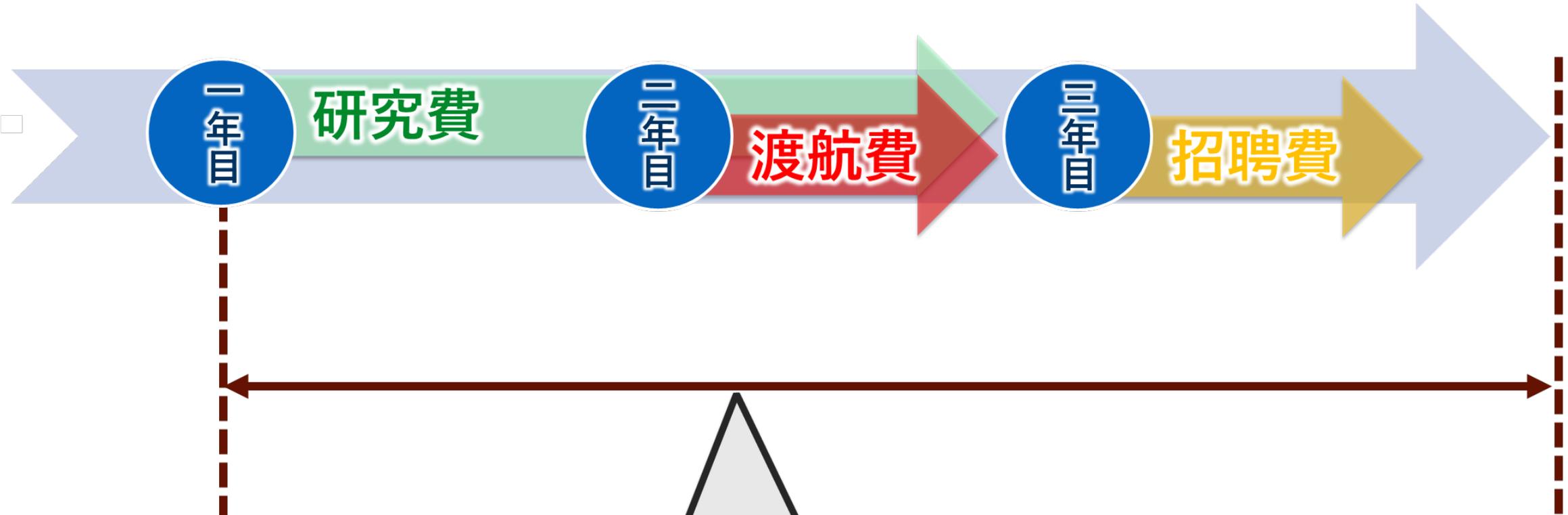


リスボン



10

# L-INSIGHT 採択期間（3年）のイメージ図



- スタートアップ研究費  
(最初の2年間で**総額100万円**程度)
- 渡航費 (3年間で**総額100万円**程度)
- 招聘費 (3年間で**総額150万円**程度)

- 基幹プログラムの各種イベントに参加 (任意)
- 名誉教授メンター (1~3回/年)、および L-INSIGHTワークショップ (4~6回/年) の参加

- 成果発信費  
(**上限60万円**程度/年)

2.

## L-INSIGHTフェローに提供しているプログラム

京都大学若手研究者戦略育成拠点 受講支援メンター 仲野

# L-INSIGHTで提供するプログラム等

## 基幹プログラム（機会提供）

### 世界視力錬成セミナー・シンポジウム

トップクラスの研究者に必要なマインドやスキルを学ぶため、産官学の枠を超えた連携を図る機会を提供

### 国際連携プログラム ← 欧州・豪州・インド

連携大学やコンソーシアムと協力して、現地でのセミナー開催、研究発表、若手研究者との交流、研究現場を視察する機会を提供

## 実践プログラム（資金提供）

フェローが自らネットワークを構築・強化するための経費

- ・研究費（最初の2年間で上限100万円程度）
- ・渡航費（3年間で上限100万円程度） ← 2年目を想定
- ・招聘費（3年間で上限150万円程度） ← 3年目を想定

研究成果発信費（各年上限60万円程度） ← 随時

## CToP プログラム（相談支援）

### 名誉教授メンター制度

京都大学の名誉教授の中から各フェローの分野や希望に応じてメンターを配置

### L-INSIGHT ワークショップ

フェローがそれぞれの研究分野の話題を提供し、議論を深め合う異分野交流ワークショップ

↓ 他機関等との連携により目的に応じた環境を創出

京都大学が世界に誇る  
研究者に学ぶ少人数制講座



KYOTO UNIVERSITY

現地専門家とのワーク  
ショップ(メルボルン)



学長会議での発表  
(ゲッティンゲン)



融合研究着想  
コンテスト



名誉教授メンター  
制度



1

次年度実施予定のプログラム詳細は  
事業実施報告書をご確認ください

[L-INSIGHTホームページ](#)>[L-INSIGHTとは](#)>[資料アーカイブ](#)

来年度は  
10年間の文科省事業の8年目にあたるため、  
今回が最終のフェロー募集となります

### 3. 応募申請書の記載事項の要点

L-INSIGHTへの参画により、  
世界トップレベルの研究者として将来活躍することが期待できるかどうか

が判定できるよう、募集申請書各項目の記載内容を通じて示してください

審査の観点; 募集要項6ページ

- 1) L-INSIGHTに参加する理由と目的が明確で、コアサークルの構築を支援するというL-INSIGHTの趣旨に沿うものか
- 2) L-INSIGHTの支援を受ける3年間の計画が具体的かつ適切か
- 3) 以上の計画に対する十分な遂行能力を有しているか
- 4) 予算計画・使途が妥当か

## 審査の観点;

1) L-INSIGHTに参加する理由と目的が明確で、コアサークルの構築を支援するというL-INSIGHTの趣旨に沿うものか

## 申請書の記載項目;

### (1) L-INSIGHTに応募する理由

1. 応募者が将来コアサークルを形成する意欲と能力を持つことを、これまでの研究活動から説明

2. (1)-1を踏まえて、L-INSIGHTに応募する理由

- 本欄には現在取り組んでいる研究について概要を示し、その内容や分野の特性を考慮したうえで、L-INSIGHTに応募する目的、またL-INSIGHTの支援制度に何を期待しているか記載して下さい。
- どのような世界の有望な若手研究者（研究分野、国、研究機関、または産業界で連携したい企業等を明記）とネットワークを構築・強化しようとしているのか、具体的に示して下さい。

## 審査の観点;

2) L-INSIGHTの支援を受ける3年間の計画が具体的かつ適切か

## 申請書の記載項目;

### (2) L-INSIGHTフェローとして取り組む3年間の計画

- 本欄には、L-INSIGHTフェローに採用された場合、募集要項に記載された本事業の趣旨や支援制度を参考に2026年4月から3年間どのような計画を実施するか記載して下さい。可能な限り3年間にわたる計画を立て、原則として、渡航（2年目推奨）と招聘（3年目推奨）は異なる年度に実施するように計画して下さい。
- L-INSIGHTの支援制度（基幹プログラム、実践プログラム、CToPプログラム）をどのように取捨選択しながら活用し、何をどこまで達成しようとしているのか、具体的に説明して下さい。

## 審査の観点;

「世界トップレベルの研究者として将来活躍することが期待できるか」 どうかの判定材料として、  
審査の観点1) と審査の観点2) を補足する情報

## 申請書の記載項目;

### **(3) L-INSIGHTで得た成果をもとに、どのような研究者として活躍したいか、将来の展望**

- 本欄には、L-INSIGHTで構築・強化したネットワークを通じ、今後どのような研究を推進し、研究者としてどのようなキャリアを築こうとしているか、記載して下さい。

## 審査の観点;

3) 以上の計画に対する十分な遂行能力を有しているか

## 申請書の記載項目;

### **(1) ~ (3) に関する遂行能力を示す上で、重要と考える実績およびその理由**

#### **(3件以内、1ページ以内)**

- 論文、著書、産業財産権、招待講演、開催したワークショップ、学術集会などについて、上記 (1) から (3) までの各項目の内容と関連づけて説明してください。researchmapを参考にする場合があります。

## 審査の観点;

### 4) 予算計画・使途が妥当か

## 申請書の記載項目;

### 3年間の予算計画について（2 ページ以内）

#### 予算使途/ 内訳

各費目の使途について事項と使用年度、金額を記入して下さい。

**研究費（最初の2年間で総額上限100万円程度、1年目推奨）**

**渡航費（3年間で総額上限100万円程度、2年目推奨）**

**招聘費（3年間で総額上限150万円程度、3年目推奨）**

# 4. 質疑

# 事前にいただいた質問 ①

- 採択率はどの程度でしょうか

⇒毎年異なります。過去の公募では2-7倍の競争率でした。

- 録画配信はありますか

⇒オンデマンド配信を致します。URLはL-INSIGHTホームページに掲示します。  
(12月26日までに掲載予定)

- 第5期までの活動内容や採択研究者のプロフィールを知りたい

⇒L-INSIGHT Webサイトに掲載している各種パンフレットをご覧ください。

事業実施報告書：[https://l-insight.kyoto-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/08/LINSIGHT\\_02-Booklet-A-web.pdf](https://l-insight.kyoto-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/08/LINSIGHT_02-Booklet-A-web.pdf)

フェロー紹介：[https://l-insight.kyoto-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/08/LINSIGHT\\_03-Booklet-B-web.pdf](https://l-insight.kyoto-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/08/LINSIGHT_03-Booklet-B-web.pdf)

なお、昨年の採択者は人社系3名・理工系1名・医薬生命系2名、

一昨年の採択者は人社系2名・理工系3名・医薬生命系1名・フィールド系1名でした。

## 事前にいただいた質問 ②

- 海外での研究経験および資金の見込みが現時点では無いため、意欲に基づく計画を申請書に記載することになるのですが、応募資格として適切でしょうか

⇒海外での研究経験および資金の見込みがなくても問題ありません。

ただし、L-INSIGHTへの参画により、

世界トップレベルの研究者として将来活躍することが期待できるかどうか

(具体的には募集要項6ページの「審査の観点」に記載の事項)

が判定できるように記載してください。

# ご応募をお待ちしています！

ご不明な点はL-INSIGHT事務局までお問合せください